

報道関係者各位
プレスリリース



2014年06月20日

一般社団法人日本分析機器工業会 JAIMA

一般社団法人日本科学機器協会 JSIA

JASIS2014 特別企画「先端診断イノベーションゾーン」概要固まる

～内閣官房、AIST、JST FIRST、Lund 大学など、

国内外から注目の講演者が決定～

一般社団法人日本分析機器工業会(JAIMA、所在地：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-12-3、会長：服部 重彦 / 株式会社島津製作所 代表取締役会長)及び一般社団法人日本科学機器協会(JSIA、所在地：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-5 会長：矢澤 英人 / 株式会社ダルトン 代表取締役社長)は、9月3日(水)～5日(金)に幕張メッセで開催される JASIS2014 の特別企画「先端診断イノベーションゾーン」について、基調講演プログラム、及び展示の概要等を決定しました。

この特別企画は、昨年好評を博した「メディカルイノベーションゾーン」に続くものです。ヘルスケア分野の中で、より分析機器・技術の活用、応用が期待できるフィールドを意図して「先端診断イノベーションゾーン」という名称とし、昨年の約2倍のスケール(今年：約900m² 昨年：440m²)で実施します。

JAIMA では、「先端診断」を「分析技術と多様な科学技術の融合により創出される新たな臨床診断やヘルスケアマネジメントを確立するための研究領域」と定義しています。近年、各種分析計測関連技術の進歩は、遺伝子解析、蛋白質マーカー探索、代謝マーカー探索、細胞研究等の飛躍的な発展をもたらし、バイオ研究市場においては Genomics、Proteomics、Metabolomics の分野の進化を支え、また医療の市場では、テーラーメイド医療の実現や未病健康産業を含む新産業創出に向けた動きを加速させつつあります。

こうした背景を鑑み、「先端診断イノベーションゾーン」の中心的企画となる基調講演では、3日間の日程中、近未来先端診断市場で特に注目されるテーマを各日ひとつ選び、世界の動向調査や日本の戦略立案をご紹介します、あるいは最先端研究に携わる著名な先生方にご講演いただくプログラムとなっています。

また、「展示ゾーン」では、30を超える企業・団体のブースが展示される他、中に設けられた主催者企画展示コーナーでは「先端診断」をわかりやすく解説するブースや、「日本発」の先端診断をテーマとした、科学技術振興機構、産業技術総合研究所、バイオチップコンソーシアムの最新研究を紹介するブースが設置されます。また、出展企業からの最新情報が得られるプレゼンテーションも会場内で実施するなど、多くの企画が行われます。

(1)基調講演：3日間で17タイトル

テーマ：

9月3日：先端診断の世界の動向と日本の戦略

9月4日：クリニカル分野における各種質量分析計による先端診断

9月5日：遺伝子診断の現状と将来展望

基調講演者(一部抜粋)

- ・内閣官房健康・医療戦略室 長谷 弘道 氏
- ・AIST(産業技術総合研究所) 夏目 徹 氏
- ・JST(科学技術振興機構) FIRST 研究者 田中 耕一 氏 (株式会社島津製作所)
- ・JST(科学技術振興機構) FIRST 研究者 川合 知二 氏 (大阪大学)
- ・Lund 大(スウェーデン) Gyorgy Marko-Varga 氏

* 基調講演詳細プログラムは以下をご参照ください。

先端診断の世界 動向と日本の戦略	9月3日(水)	AM	11:30~12:10	ライフサイエンス分野におけるシンガポール A*STARと神奈川県・GCCの協力関係構築による取組」(仮)	Dr. Tan Sze Wee (A*STAR バイオメディカルリサーチ協議会副理事長)
			12:10~12:50	Making Medicine More Precise: Applications of Molecular Diagnostics	Paul Billings(ALDA)
			12:50~13:30	"The Value of Large Scale Biobanking in Clinical Healthcare"	György Marko-Varga (Clinical Protein Science & Imaging Group, BioMedical Center, University of Lund, Lund, Sweden)
		PM	14:00~14:40	MS-based臨床プロテオミクス・バイオマーカー研究の世界の現状と課題	西村 俊秀(東京医科大学第一外科学)
			15:00~15:40	日米双方向から見た製薬会社におけるバイオマーカー研究と診断薬開発の現状	小田 吉哉(エーザイ株)
			16:00~16:30	(仮)新たな医療分野の研究開発体制について	長谷 弘道(内閣官房 健康・医療戦略室)
クリニカル分野における 各種質量分析計 による先端診断	9月4日(木)	AM	11:00~11:40	ドラッグデリバリー研究における質量顕微鏡のメタボロミクスによるがん診断法の開発	松村 保広((独)国立がん研究センター東病院)
			12:00~12:40	最先端質量分析システムの現状と将来性	田中 耕一(株)島津製作所 シニアフェロー)
		PM	14:00~14:40	オンサイトマススペクトロメトリーが切り拓く新しい医療診断	豊田 岐聡(大阪大学大学院理学研究科)
			15:00~15:40	汎用ヒト型ロボット<まほろ>によるライフサイエンス革命	夏目 徹((独)産業技術総合研究所)
			11:00~11:40	1分子解析技術を基盤とした革新ナノバイオデバイスの研究開発	川合 知二(大阪大学 産業科学研究所 バイオテクノロジー研究分野)
		遺伝子診断の現状 と将来展望	9月5日(金)	AM	12:00~12:40
JMACとしての国際規格取得から今後の産業化へ向けて					
PM	13:00~13:30			遺伝子診断の実用化に向けた標準活動	山本 伸子(特定非営利活動法人 バイオチップコンソーシアム)
	13:30~14:00			バイオチップの新技术と実用化例	船岡 創平(住友ベークライト(株))
	14:00~14:30			分子診断のプレアナリティカル段階の標準化活動	岡野 和広((株)キアゲン)
	14:30~15:00			未病社会のための診断技術(RNA check)	的場 亮((株)DNAチップ研究所)

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本分析機器工業会 事務局 濱崎(はまざき)

電話 : 03-3292-0642

URL : <http://www.jaima.or.jp/>